

氏名	菅 沼 成 文
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1805 号
学位授与の日付	平成10年3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Risk analysis of the exposure to GB Virus C/Hepatitis G Virus among Populations of Intravenous Drug Users, Commercial Sex Workers and Male Outpatients at a STD Clinic in Chiang Mai, Thailand: A Cross-Sectional Case-Control Study. (タイ国チェンマイ市におけるG型肝炎のリスク解析： 横断的患者対照研究)
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 青山 英康 教授 山田 雅夫

学位論文内容の要旨

G型肝炎ウイルス(GBV-C/HGV)感染のリスクファクターを解析するため血液あるいは性的暴露のリスクのある集団を対象として横断的患者対象研究を行った。98人の経静脈麻薬常習者(IVDU)、100人の高級売春婦(CSW)、50人の性病科診療所の男性外来患者(mSTD)を対象としGBV-C RNA、GBV-C/HGVのエンベロップ蛋白であるE2に対する抗体(E2抗体)を測定し、各群間においてその保有率を比較した。GBV-C RNAはIVDU群で保有率が最も高く(27.6%)、E2抗体の保有率は各群間において有意な差を認めなかった。リスク解析では麻薬静脈注射がGBV-C RNAと強い関連を、性行為感染症がE2抗体と強い関連を示した。すなわち、麻薬静脈注射と性感染症がGBV-C/HGV感染のリスクファクターであったが、性感染症はGBV-C/HGVによるウイルス血症のリスクを高めなかった。

論文審査結果の要旨

本研究は、G型肝炎ウイルス(GBV-C/HGV)感染のリスクファクターを解析するために、血液あるいは性的暴露のリスクのある集団を対象としてGBV-C RNA、GBV-C/HGVのエンベロップ蛋白であるE2に対する抗体(E2抗体)を測定したもので、98人の経静脈麻薬常習者(IVDU)、100人の高級売春婦(CSW)、50人の性病科診療所の男性外来患者(mSTD)について検討し、麻薬静脈注射と性感染症がGBV-C/HGV感染のリスクファクターであったが、性感染症はGBV-C/HGVによるウイルス血症のリスクを高めなかったという極めて興味ある知見を得ている。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。